

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 神戸市立中央体育館 Hコート

試合区分: No. 417 少年女子 2回戦

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 川原 禎仁

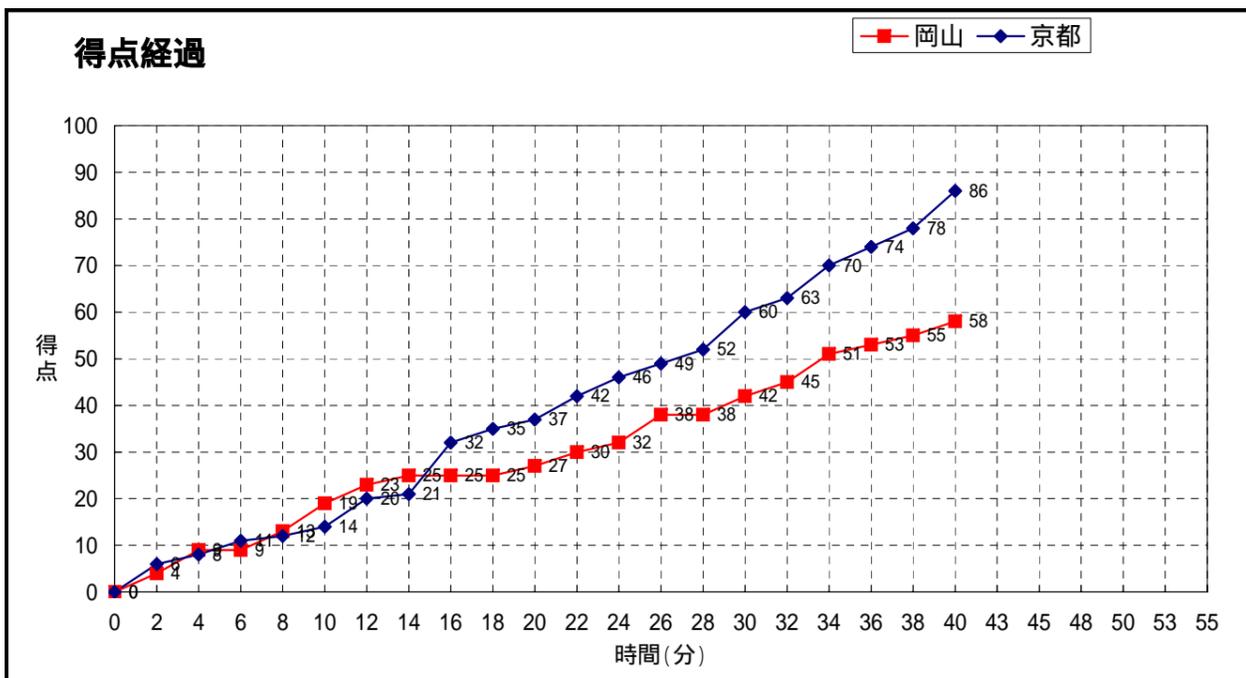
開始時間: 10:00

副審: 金蔵 正幸

終了時間: 11:31

京都						岡山									
86						58									
(近畿)						(中国)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	家原 悠里亜	10	3	0	1	2	4		井上 明子	3	1	0	0	2
5	*	篠原 優	1	0	0	1	0	5	*	原 彩	3	1	0	0	3
6	*	丸山 友理子	9	2	1	1	3	6	*	竹本 彩香	12	0	6	0	4
7	*	代田 好	21	0	7	7	0	7	*	山田 有紀	12	2	3	0	3
8		伊藤 菓	0	0	0	0	2	8	*	横山 詩歩	6	0	3	0	4
9		山田 あゆみ	5	1	1	0	0	9		菅野 千尋	9	0	3	3	4
10		中村 円	0	0	0	0	0	10		磯部 真夕	3	0	1	1	2
11	*	山元 ひかる	17	5	1	0	2	11		真木 智代	-	-	-	-	-
12		富谷 友恵	3	1	0	0	4	12		花山 理香	-	-	-	-	-
13		廣瀬 千紘	14	3	1	3	1	13	*	川原 美幸	10	0	4	2	3
14		金沢 美晴	2	0	1	0	0	14		大道 佳織	-	-	-	-	-
15		小林 愛奈	4	1	0	1	0	15		中塚 雅恵	0	0	0	0	0
コーチ		長壁 末美						コーチ		佐原 雅明					
合計			86	16	12	14	14	合計			58	4	20	6	25

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、京都はオールコート・マンツーマンディフェンス、岡山はハーフコート・マンツーマンでスタートする。両チームとも激しいディフェンスで得点できず、一進一退の展開が続く。残り2分、岡山は、#8横山が4回目のファールで交代するが、他の4人が踏ん張り、岡山19-14京都の5点差で終了する。

第2ピリオド、開始3分、岡山がタイムアウトを取り流れを作ろうとする。しかし、京都もプレッシャーディフェンスを強めて3Pシュートで対抗し、残り3分で京都35-25岡山と、試合のリズムを作る。岡山は、#4井上を投入、残り2分、2回目のタイムアウトで流れを戻そうとするが、岡山は残り7分から1分まで、ノーゴールで苦しい展開となる。京都は、#13廣瀬の活躍で10点をリードして終了する。

第3ピリオド、京都は、#7代田のドライブインで点差を広げていき、残り6分で京都46-32岡山とする。一方、岡山は、#5原・#6竹本のシュートで対抗する。京都は、残り4分でのタイムアウトでディフェンスの強化を図り、#7代田の1on1で点差を広げる。京都は、ディフェンスを粘るとともに、中と外とのコンビネーションで得点し、60-42とリードして終了する。

第4ピリオド、岡山は#4井上・#13川原の2ガードを投入、オールコートのディフェンスに変えて展開しようとするが、京都も3Pシュートで対抗、点数を縮められず時間だけが経過していく。京都は、足元まで迫るプレッシャーディフェンスと3Pシュート、#7代田の効果的なドライブインでまたも点差を広げていく。残り2分でオールメンバーチェンジをさせる余裕を見せた京都が86-58で岡山に勝ち、3回戦に駒を進めた。

担当者: 山戸 英二(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会